

みよちゃん

社協だより

99

令和5年11月10日発行
御代田町社会福祉協議会

「紙の門松」は今回の「みよちゃん」に添付しています



五年ぶりの「やまゆり祭」

やまゆり共同作業所 鷹野由紀

十月十四日土曜日。澄み渡る秋空の下で「第九回やまゆり祭」が開催されました。

このお祭りは、広く地域の方々に作業所を知って頂くこと、そして利用者と住民の方々との交流を目的として、毎年この季節に開催してきました。第八回は台風十九号の被害の年で、祭りの開催を自粛し、その後四年間はコロナ感染拡大の影響で中止となり、五年ぶりの開催となりました。

御代田中学校の吹奏楽部の演奏でオープニングを飾って頂き、続いてアコーディオン演奏、はつらつサポーターの健康体操で祭りを盛り上げて頂きました。露天では、やきそば、カレー、ポップコーン、わたあめ、ミニバザー、子どもゲームコーナー等で長蛇の列が出来るほど賑わいました。室内では「コカリナアンサンブルさくら」の演奏が響き渡り、喫茶コーナー、作業所製品の販売、かご作り体験も大人気でした。予想以上の来客があり、実行委員を始めとして、お手伝いの方々は、休む暇もないほど頑張っていました。

五年ぶりの開催にあたって、実行委員会の皆さんにご協力をお願いをしたところ、どの実行委員の方々も口をそろえて「喜んでお手伝いします」と、快くご協力を頂き本当に嬉しく思いました。お手伝いの方々は「楽しみにしています」と元気づけて頂けるお言葉を掛けてくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも地域の皆様に、恒例の「やまゆり祭」を楽しみにしてもらえよう、スタッフ一同取り組んで参ります。ご来場頂いたお客様、そしてお祭りのお手伝いをして頂いたすべての方に多謝。本当にありがとうございました。

中学生サマーチャレンジボランティア体験2023

例年にも増して暑い暑い夏休み。中学生を対象に8月に「サマーチャレンジボランティア2023」を3項目に分けて開催しました。第1項目は、スポーツ推進員協力のもと、ニュースポーツ「ボッチャ」と「モルック」を体験しました。



両スポーツともに障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで楽しめるものです。初めての人もそうでない人も、ルールを一緒に確認しながら行う事が出来ました。

第2項目は、スポーツ交流会「SC あさま」一般社団法人一善会とのフットサル交流を行いました。

勝負で勝つという競いではなく、仲間という目線で一緒にプレーをしたり障がいのある人の表現の場になるよう寄り添ってサポートし、みんなで安全に楽しむ事を目的に、B&Gの芝生の上で基本的な動きを教わりながら交流を深め、最後は試合形式でフットサルを。誰もが真剣にボールを追う姿が見られ、最高の笑顔で終える事が出来ました。



＜ サマーチャレンジボランティアとは ＞

中学生が夏休みを利用して、お年寄りや障がいをお持ちの方、子どもたちとの交流をとおして、ボランティア活動に参加するきっかけを提供し、活動への関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的としています。



第3項目では、御代田町内の福祉・児童施設でボランティア体験を行いました。参加した学生が、多くの方との交流を深めることができた一日になりました。

ボランティア活動は、自身の学び気づき、また自身の得意不得意に気づく、ひとつのきっかけにもなります。そして、活動を通してつながりが広がることもあります。コロナ感染症の分類が下がり、町内の活動も多くなりました。ボランティアセンターの活動も、多くの方が参加できるよう、つなげていきます。

第3回御代田町シニアクラブ連合会マレットゴルフ大会

令和5年8月22日火曜日、第3回御代田町シニアクラブ連合会マレットゴルフ大会が、やまゆり公園マレットゴルフコースにて行なわれました。

本年度も社会福祉士を目指す実習生を迎え、町内各地区から86名の参加者があり、やまゆりコースと浅間コースに分かれて熱戦が繰り広げられました。

当日は雲空ではありませんでしたが、とても爽やかな風の中で、ベテランの人から初めての人まで、我を忘れて優勝杯を目指した戦いとなりました。

コースの木陰から、ときどき大きな歓声や拍手が聞こえてきました。それはホールインワンの歓声だったのでしょうか？大会中は、日頃は見られないその人の真剣な顔やとても嬉しそうな顔、悔しそうな顔が見え、楽しい1日を過ごしました。最後は、みんな自分の成績に納得して、笑顔になりました。

来年もまた、大会までに腕を磨いてお会いしましょう！



御代田町シニアクラブ連合会 会長 徳吉正博

実習生の言葉

御代田町社会福祉協議会では、夏の1か月間、福祉人材育成のため、3名の社会福祉士実習生を受け入れ、マレットゴルフ大会をはじめとする様々な地域福祉活動に参加していただきました。

ー 長野大学 社会福祉学部3年 田脇陽菜 ー

お祭りやサロン活動等の地区の行事に参加し、住民の暖かさと繋がりの深さを感じました。

実習生の私にも気さくに声を掛けてくださりとても嬉しかったです。また、住民それぞれが自分の得意なことや好きなことを活かしながら、お互い助け合って生活している姿が素敵でした。移住者が多いこと、そして移住者が孤立せずに暮らしていける理由が分かった気がします！

こんなに暖かい地域で実習をすることができて良かったです。

ー 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科3年 質輪晃浩 ー

今回、実習を通して、多くの地区のイベントに参加させて頂きました。そこで私が得られたことは、地区ごとにそれぞれ個性があるということです。移住者の方達を巻き込んでイベントを行う地区や、伝統や歴史を大切にしている地区など、一つ一つの地区に個性があると感じました。

地区の個性を活かして地域活性化に繋がられるように、残りの大学生活で地域福祉について学んでいき、1人の福祉人として社会や地域に貢献できる人間になりたいと思います。

御代田町で実習できて良かったです。ありがとうございました。

ー 佐久大学 人間福祉学部 人間福祉学科3年 清水拓斗 ー

実習を通して得られた経験は、自分を振り返ることができたことだと思います。例えば、私は実習計画に信頼関係構築のコミュニケーションと目標を立てました。しかし、実際には信頼関係どころか利用者さんとのコミュニケーションを行うことすら難しかったです。私にとってコミュニケーションは簡単だと思っていましたが、友達とのコミュニケーションとは全然違うのだと気付かされました。また、私も含めて3人で実習を行ったので、1人では気づけなかった自分の長所だったり短所を知ることができました。

赤い羽根共同募金配分金事業

介護されている方や介護を経験された方が気軽に
集える場所

オレンジカフェ

多くの介護者の皆様が気軽に立ち寄れる場であったり、
家族への心理的支援であったり、情報提供が出来る場であったり
来てよかった思える場で始まったオレンジカフェ。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止していましたが、9月25日（月）10時から感染予防
対策を取りながら数年ぶりに開催することが出来ました。

そこでは美齊津康弘氏を講師にお招きし、『ヤングケアラーについて』の講話をしていただきました。
身近に起きていてもなかなか手を出せない・中が見えないという現実です。大人が寄り添いそよ風の



ような支援を目指していくことを学びました。講話の後は、
意見交換をしながらお茶会をしました。

今後は、大きな枠で認知症に関係している方だけでなく、
色んな方に声掛けで共感の輪を広げ参加してもらえたらと思っ
ています。次回の日程は、12月または1月に開催予定です。
ぜひ、「オレンジカフェ」に足を運んでみてください。

男性の方も是非、ご参加下さい！



今日は楽しい むつみ会 9月21日



怪しい中国人も



目黒のサンマいかが？

コロナの規制も緩み、お昼の
カレーを挟んで盛りだくさん
の内容で行われました。

三味線の音色♪
に誘われて



手作りバッグをいただきました

ファミリーサポート協力会員養成研修

御代田町社会福祉協議会では、2年ごとにファミリーサポート協力員の養成研修を開催しています。このファミリーサポート協力会員養成研修が9月4日から始まりました。



課目の講師をしてくださいました。

最終日は11月20日で、軽井沢学園児童家庭支援センタースミールの金子悠一郎先生が来てくださいます。約3ヶ月間の長い研修でしたが、講師の方々の実体験や、現場の現状など、テキスト以外のことも交えてお話があり、多くの学びを得ることができました。ありがとうございました。

今年は、大林児童館館長佐藤明先生をはじめ、たんぽぽ保育園丸山久子先生、小雀保育園鷹野禮子先生、武重医院小児科の石渕真理子先生、看護師助産師橋本佳美先生、御代田町消防署職員、やまゆり保育園古越陽子先生、御代田町役場小林達佳さん、清水紗央里さん、小林奈美さん、加戸容子さん、がそれぞれの



御代田町身体障害者福祉協会

ふれあいの旅

私たち身障協会も「ふれあいの旅」を中止していましたが、会員の皆さんは「お互いの顔が見たい」「どこかへ出かけたい」と言っていましたので、去年はリンゴ狩りとバーベキュー、今年は東御市のブドウ園でブドウ狩り、その後近くの「湯楽里館」で食事と入浴をしました。ブドウ園ではシャインマスカット、巨峰、その他4種類くらい味見させてくださり、シ



ャインマスカットをひとり一房、採らせてもらいました。秋の味覚、とても美味しかったです。本当に久しぶりの食事会、楽しく時間が過ぎました。行き帰りの足は9人乗りのタクシーをお願いしましたが、コロナ前まではリフト付きのバスを借りて旅行していました。今はバス代がとて高くなり、簡単には頼めなくなりました。リフト付きバスなら車椅子や足の不自由な方も、気兼ねなくお出かけできるのですが、遠出や珍しい所は行きづらくなってしまいました。また、私たちの協会も年々会員の方が少なくなってきました。個人で動くことが多くなってきましたが、会だからこそできることもあると思います。なにかやってもらいたい事があったら、遠慮なく言ってください。 荻原妙子

ボランティアグループ 幸せぶくろ主催 第3回もったいない市の開催

12月2日(土)10時~15時に、栄町公民館にて第3回もったいない市が開催されます。

このイベントでは、「まだ使えそうなもったいないものを使ってくれる人に渡す」、「捨てるにはもったいない食べ物を大切にする」、「みんなが持つきらりと光る、知らないともったいない才能に注目する」ことを大切に行なわれます。

皆さん、お時間がありましたら足を運んでみてはどうでしょうか！もったいない市では、子どもでも病気や障がいがあってもご年配の方でも、商品を通じて、または周りとのかわりを大切にしながら、行なわれます。

御代田町社会福祉協議会も「フードライブ」のブースでお待ちしております。



生活応援パックについて

新型コロナウイルス感染症拡大のため「一人親家庭の集い」の代替事業として、令和2年から新たに「生活応援パック配布事業」が始まりました。

この事業は、赤い羽根共同募金と、個人の寄付等により行っています。今年度、ご協力いただいた事業者は、(株)くるまや、西軽井沢物産(株)、やまいし(株)、ファミリーマート御代田ミネベアミツミ前店、アサヒ紙工と、御代田町内や近隣市町の農家の方々でした。

受け取った方々からは「生活に役立つ食品があり、とてもありがたいです」などのお声をいただきました。



きました。ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

車椅子贈呈式が挙行されました

長野新潟両県の郵便局長で組織された「一般社団法人信越郵便局長協会」様は、郵便局は地域に根差した機関であることを念頭におかれ、地域貢献活動の一環として、毎年、地域ごとにボランティア活動を続けられています。また、各地域の社会福祉法人が運営する福祉施設に、車椅子の贈呈をされています。

この度、同協会様の地区担当であられる「東信地区佐久北ブロック」様から、御代田町社会福祉協議会に車椅子と電動空気入れ各1台を贈呈して戴きました。



眠っているタオル譲ってください

「やまゆり共同作業所」は、障がいを持つ方々がそれぞれの目的を持って、社会的自立を目指して仕事をしています。手縫い雑巾の作成していますが、材料が不足し困っています。

ご家庭で使わないタオル(未使用の物、色柄物会社名入りでも良いです)お譲り下さい。直接お持ち頂くか、ご連絡頂ければ取りに伺います。

場所は町営駅北駐車場内(旧保健センター向かい)です。

お問い合わせは、
【やまゆり共同作業所】まで
TEL 0267-32-1118
MAIL でもOKです。から➡



手縫い雑巾3枚セット
280円で販売しています。



スタッフ大募集 !! 契約(パート)職員募集

【募集職種】

介護職員 ・時給 1,000 円～ 1,300 円
・賞与 年 2 回（契約により異なる）

【要資格】

・介護福祉士 または 介護職員初任者研修修了者

【休 日】

・週休 2 日制
・年間休日 113 日（令和 4 年度平均）
・年次有給休暇 6 カ月経過後支給
・特別休暇（介護休暇、育児休暇、忌引休暇、ボランティア休暇、新型コロナウイルス感染症に係る特別休暇等）

【手当等待遇】

・資格手当 勤務時間により、上限 月 6,000 円支給
・通勤手当 勤務日により、上限 月 13,700 円支給
・扶養手当 1 人 月 4,000 円又は月 6,000 円支給
・住居手当 上限 月 24,000 円支給
・夜勤手当 1 時間 700 円（22 時から 5 時）
・その他 職場手当、職務手当、早朝・夜間手当
※手当については一定の要件があります。

【その他福利厚生】

・食堂等利用可（1 食 350 円）
・インフルエンザ予防接種等補助
・各種資格取得の補助

詳しい募集内容等について知りたい方は、
以下の QR コードを読み取ってください。



▲町社協公式 HP



▲採用サイト

私たちと一緒に、誰もが安心して暮らせる

「地域づくり」を担いませんか？

随時募集しておりますので、お問い合わせください。

問い合わせ先：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会
ハートピアみよた 総務係

問い合わせ時間：平日の 8 時 15 分～ 17 時まで

☎ 0267-32-1100

社会福祉大会を開催します

第 45 回御代田町社会福祉大会を、次の日程で
開催します。今回は表彰状及び感謝状贈呈の後に、
中島幸則先生に記念講演していただきます。

日 時：令和 5 年 11 月 25 日（土） PM1:30 ～ 3:45

会 場：エコールみよた「あつもりホール」

講 師：筑波技術大学障害者高等教育支援センター
教授 中島幸則 氏

演 題：障がいがあるなしに関わらず
みんなが輝ける社会に（仮題）

寄付御礼

令和 5 年 6 月～ 8 月まで

ぬいつこと 様	30,000 円
やまいし株式会社 様	10,000 円
佐久浅間農協御代田支所 様	2,854 円
佐々木 保子 様	2,909 円

計 45,763 円

いつもの皆様のご協力に感謝いたします。

「みよちゃん」は皆様の社協会費、共同募金で発行されています。

社協だより
みよちゃん
No.99



発行日：令和 5 年 11 月 10 日

発行者：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会

住所：御代田町大字御代田 1772 番地 1
ハートピアみよた

TEL：0267-32-1100

FAX：0267-32-1111

WEB：https://miyota-shakyo.sakura.ne.jp/

編集後記

初めまして。五月二十九日付で福祉係に配属になりました三昌です。縁あってお仲間に入れた事で、縁に感謝しています。未経験で迷惑をお掛けすることが多々あると思います。覚え、頑張っていく事を吸収し、す。窓口すぐそばに座っています。ぼくとしてたらお願い致します。これから宜しくお願い致します。

【三昌】

六月一日より、福祉係に配属されました。中嶋です。私も未経験で勉強の毎日です。福祉係の業務は範囲が広くわからないことが多いです。ですが、私なりにがんばっていきまします。身体障がい者福祉協会と、遺族会の窓口や、相談業務にもあたりますので、温かい目で見守ってください。よろしくおねがいします。

【中嶋】

ボランティア便り

とうもろこし

発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

No.83



南小学校コミュニティルーム誕生

御代田南小学校と学校運営協議会との共同により、旧パソコン室を、地域の方々との交流などを目的とした「コミュニティルーム」として設置いたしました。

八月三十日より試行的に運用を始めていますが、コミュニティルームの中は子どもたちの明るい声が飛び交う空間で、大変和やかで良い交流が図られています。

このコミュニティルームで、子どもたちと一緒に遊んだり、おしゃべりをしてみませんか？興味や関心がありましたら、

【御代田町社協福祉係】

☎ 〇二六七三三ー一〇〇〇

まで、ご連絡をください！



龍神祭りの後のゴミ拾いボランティア

七月三十日（日）、龍神祭りの後の町内を御代田中生徒有志とボラ連中心に清掃作業を行いました。メンバーは小中高校生から壮年や老齢期までボランティアが約六十名！駅前からミネバア通りまで五班に分かれ、チリの一つから拾い集めました。このような志高い皆さんによって御代田の町が保たれていると思うと、誇り高い気持ちです。



フラダンス交流会

九月十二日、町内のフラダンスグループ「ハイビスカス」の6人の方々がやまゆり共同作業所を訪問してフラダンス交流会を開いてくれました。

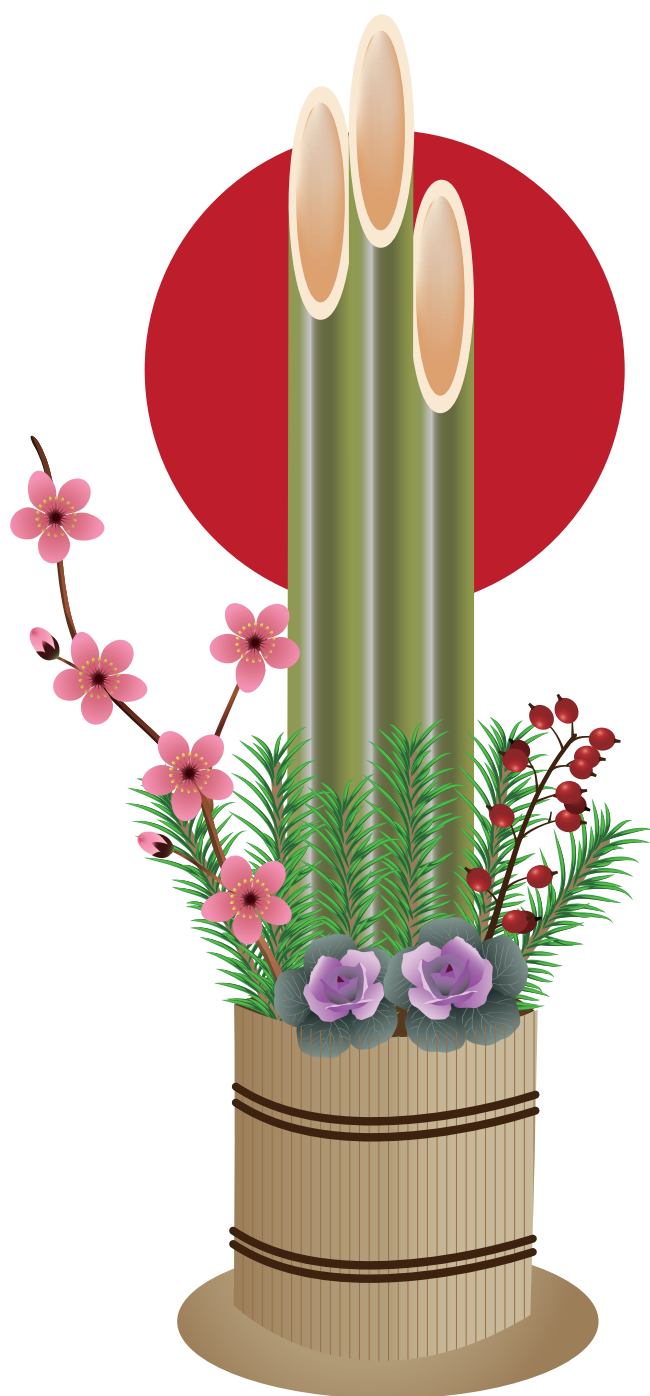
若草色のとっても素敵なおドレスのハイビスカスの皆さん。髪に髪飾りを付けレイをかけた作業所の皆さんも一緒にフラダンスを踊って、まるでハワイにいるような華やかな作業所になりました。



「紙の門松」

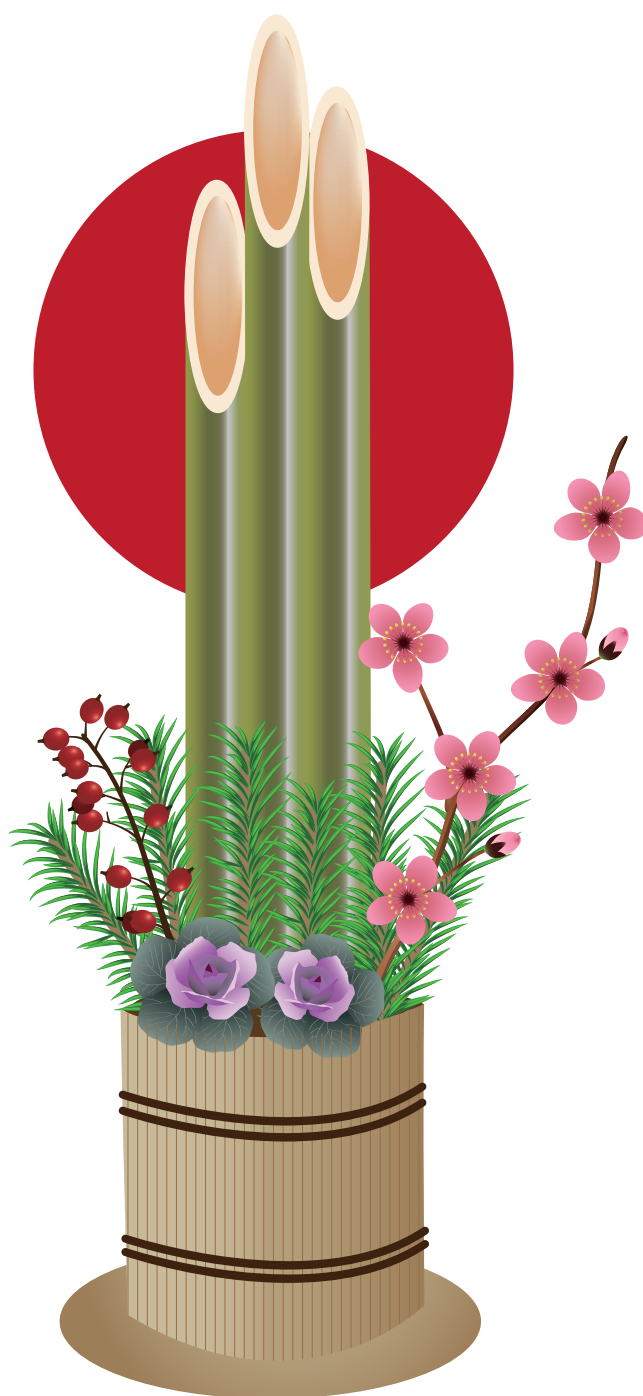
この「紙の門松」は、皆様の共同募金で作成しました。
裏面に点線を引いてあるので、切ってお使いください。

賀正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会

賀正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会

「紙の門松」

切り取り線

切り
取り
線